

働く人に不況の責任を押し付けるな！

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2009年4月

No.18

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸

TEL (FAX)

090-9121-0602

「緊急業績改善対策」 で労働条件引き下げ

春闘の交渉と合わせ、赤字を理由として「緊急業績改善対策」が会社から提案され、決定してしまいました。

その内容は、残業時間割増賃金の引き下げ、出張経費削減、カフェテリアプラン凍結などです。また、派遣社員の雇い止めも現実となつてきています。会社の言いなりになっていては、働く人の生活を守ることはできません。

経営責任を明確に

会社は「赤字が31億円」と言っていますが、空調事業部では「3.4億円の黒字」、清水の業務用空調においては連結で「21.7億円の黒字」となっています。全体が悪いからというところで、安易に労働条件を引き下げられたのでは、社員の納得は得られません。

労働強化に注意

不況を理由に労働強化が行われないよう注意が必要です。特に清水の場合、長時間労働で過労死した方がいます。過労死を二度と起こさせないためにも、労働時間短縮の施策が後戻りしないようにさせましょう。

他にやるべきことは？

社員の労働条件に手をつける前に、長時間残業の削減や幹部給与の削減など、他にやるべきことがあります。他の対策も実施せずに、労働条件切り下げは許せません。

派遣社員の雇用確保

最近、清水地域では、自動車関連の派遣切りも行われ、ハローワークは超満員です。このようなかで雇い止めになれては、簡単に次の仕事が見つかるわけはありません。派遣社員の雇用を確保するため、労使がともに努力することが求められています。

株主中心の経営から転換を

会社はFIVが連続赤字と言って、労働条件引き下げの理由にあげています。もともとFIVは株主中心の経営のための指標です。資本金の1割以上の営業利益をあげなければ、赤字となってしまいます。もうけが出た時は株主と役員報酬へ、赤字になれば働く人へ犠牲転嫁では、まともな経営とは言えません。

派遣社員の雇用確保は、企業の社会的責任です